

【パネルディスカッションテーマ】

テーマ1：本市・本町のまちづくりにおける課題と官民連携の取組

テーマ2：官民連携を進めるにあたっての課題

【主な発言内容】

○（遠別町長）笹川 洸志 氏

遠別町では、移住のニーズに対して町内の住宅が不足していることが課題であった。北海道留萌振興局と北海道銀行と連携し、民間賃貸住宅建設助成事業を実施することで、町内の民間事業者による賃貸住宅の建設を促進し、結果として、町外からの転入人口の増加につながった。今後も、住民のニーズに応える適切な対応を官民で連携し進めていきたい。

○（鷹栖町長）谷 寿男 氏

鷹栖町では、農村部の高齢者に対し市街地への住み替え支援や市街地での高齢者の住環境整備、地域包括ケアの充実を一体的に進めている。また、宅建協会と連携し、空き家の活用に取り組んでいる。民間のノウハウを活用し、町内の空き物件の一斉内覧フェアを実施し、一定の成果を上げた。人口減少を見据え、人との繋がりをもったまちづくりのために、官民で連携、協力して出来ることから取り組みたい。

○（千歳市長）山口 幸太郎 氏

千歳市では、多くの魅力ある観光資源が十分に活かされず、「通過型のまち」となっていることが課題であった。交流人口増加のための拠点として、道の駅のリニューアル事業を実施した。事業手法の検討に際し、若手職員を中心にタスクフォースで検討を行い、結果として、リース方式など官民連携手法で事業に取り組むこととなった。今後も、官民でリスクや情報を共有しつつ、幅広く連携を行い、民間のノウハウを活用していきたい。

○（陸別町長）野尻 秀隆 氏

陸別町では、町内の人材だけでは限界があること、今後の担い手が不足していることが課題である。官民連携の場づくりとして国土交通省の支援のもとで、プラットフォーム形成に取り組んでいる。本格的な人口減少に直面している小規模自治体における官民連携の担い手育成から具体的な新規事業導入までの官民連携組織を立ち上げ、持続的にぎわい観光施設を整備していきたい。



【官民連携（PPP/PFI）事業の推進に向けた首長意見交換会】



【（遠別町長）笹川 洸志 氏】



【（鷹栖町長）谷 寿男 氏】



【（千歳市長）山口 幸太郎 氏】



【（陸別町長）野尻 秀隆 氏】



【（北海道大学 公共政策大学院 特任教授）
石井 吉春 氏】



【（札幌大学 教授）
宇野 二郎 氏】



【（北海道大学 大学院 教授）
高野 伸栄 氏】